

# JX手順\_TF6G・他社EDI用 業務マニュアル【画面・詳細編】

【 第 1.1 版 】

2022年06月20日

# 画面一覧

- 1. メインメニュー
- 2. データ受信画面
- 3. データファイル出力画面
- 4. データ送信画面
- 5. 利用会社マスタメンテ画面
- 6. 各種設定業務メニュー画面
- 7. 通信設定画面
- 8. 通信ファイル設定画面
- 9. 退避復元設定画面
- 10. スケジューラ設定画面
- 11. データ整理設定画面

<u> 面名 メインメニ</u>	
メイン	メニュー
цкл <del>д</del> ,	
マイアウト	
	TERAN/AE for .NET version 8.4.3
	WebOrdering & Reporting System version 8.4.3 6G対応版
	チェーン     利用会社       0000000002:J×手順_TF6G・1▼     00001:サンプルユーザ
	データ受信 ファイル出力 データ送信
	Copyright@FUJITSU Japan CORPORATION All Rights Reserved



# 画面名 データ受信

# 画面操作方法

# ◆データを受信する

①.『受信開始』ボタンを押すことで受信が開始されます

※受信と同時にファイル出力を行いたい場合は、通信ファイル設定画面にて設定してください

# 画面名 データファイル出力

|受信したデータの外部ファイル出力を行います

画面内容



# 画面操作方法

◆データをファイル出力する

①出力条件[データ種]と[受信日時]を各コンボボックスにて指定します
 ②出力ファイルパスを入力、もしくは『参照』ボタンから選択します
 ③出力条件、出力ファイルパスの指定が終わったら、『出力処理開始』ボタンを押すことでファイル出力が開始されます

画面名	データファイル出力

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン	<ul> <li>・当該画面を終了し、メインメニューへ戻ります</li> </ul>
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・押下可能の状態 
出力条件 ※②出力条件	・「②出力条件」内コンボボックスにて選択した値全てをAND条件とし、ファイル出力対象データを絞り込みます 「データ種」コンボボックス選択後に「受信日時」コンボボックスの値が対象データ種のリストに変更されます そのため、「データ種」「受信日時」を選択した状態で「データ種」を変更すると「受信日時」は未選択の状態になります
	初期表示状態 ・データ種コンボボックスが選択可能な状態、受信日時コンボボックスは選択不可な状態 ※データ種コンボボックスを選択し、出力可能データがある場合は受信日時コンボボックスが選択可能となります
出力ファイルパス ※③出力ファイルパス	・「②出力条件」『出力ファイルパス』テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時に出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『出力ファイルパス』テキストボックスに前回ファイル出力処理を行ったファイルパスを自動表示します
	初期表示状態 ・入力可能な状態
参照ボタン ※③出力ファイルパス	・「名前を付けて保存」画面を表示し、入力/選択したファイルパスを『出力ファイルパス』テキストボックスに自動的に入力します 
	初期表示状態 ・押下可能な状態 
出力開始ボタン ※④出力処理開始	・「②出力条件」「③出力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時に出力ファイルパスの保存を行います
	初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名 データ	ファイル出力	
表示/ファイル 出力対象データ	「②出力条件」の「· 通信ファイル設定〕 「②出力条件」の「· 「データ種」コンボ <del>ァ</del>	データ種」コンボボックスには、 画面で設定した「処理内容:受信」のデータ種のリストが表示される 受信日時」コンボボックスには、 ドックスで選択されたデータ種の受信したファイルの受信日時のリストが表示される
表示並び順 ※②出力条件	データ種	データ種(通信ファイル設定登録順)
	受信日時	ファイル受信日時(降順)



#### 画面名 データ送信

### 画面操作方法

#### ◆データを送信する

①送信するデータ種を指定します

②.送信する対象のファイルを指定します

③送信対象の指定が終わったら、『送信開始』ボタンを押すことで送信が開始されます

※必要な場合、「送信後に送信ファイルを削除する」にチェックしてください (チェックしない場合、送信対象に指定したファイルは削除されません)

※ファイル送信履歴の保有期間は1ヵ月間になります 1ヵ月を超えた履歴は当画面クローズ時に削除されます

画面名 データ送信	
機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン	<ul> <li>・当該画面を終了し、メインメニューへ戻ります</li> </ul>
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・ 押下可能の状態 
送信対象 ※②対象	・「②対象」内にて「データ種」と「入力ファイルパス」(送信対象のファイルパス)を指定します
	初期表示状態 ・『データ種』は未選択、『入力ファイルパス』は未入力の状態
送信後に送信ファイルを削除するチェック ※③送信開始	・チェックされている場合、送信時に「入力ファイルパス」(送信対象のファイルパス)にて指定されたファイルを送信後に削除します ※未チェックの場合は送信対象ファイルは削除されません ※チェックされている状態での通信エラー(正常に送信できていない)の場合は送信対象ファイルは削除されません
	初期表示状態 ・未チェックの状態 ※前回の画面状態を保持するため、前回画面展開時にチェックをした場合はチェックされている状態で表示される ※画面クローズ時にチェック状態を保存します
送信開始ボタン ※③送信開始	・「②対象」で選択した送信対象ファイルを指定した「データ種」として送信します
	初期表示状態 ・押下可能な状態
ファイル送信履歴 ※④ファイル送信履歴	・送信したファイルの履歴を表示します ※送信履歴の保有期間は1ヵ月となり、1ヵ月を超えた履歴は削除されます(保有期間の設定はできません)
	初期表示状態 ・送信した履歴が表示される ※送信を行っていない場合は履歴表示なし

画面名 データ	9送信					
表示対象データ	この対象データ 「②対象」の「データ種」コンボボックスには、 通信ファイル設定画面で設定した「処理内容:送信」のデータ種のリストが表示される 「④ファイル送信履歴」には、該当利用会社で送信したデータファイルの履歴が表示される					
表示並び順	データ種  ※②対象	データ種(通信ファイル設定登録順	])			
	ファイル送信履歴一覧 ※④ファイル送信履歴	送信日時(降順)				

#### 画面名 利用会社マスタメンテナンス

利用会社マスタの新規作成、変更、削除を行います
※当パターンファイルでは利用会社コードによる受送信時のチェックは行われないため、任意の値で問題ありません。
ご利用に当たり、運用しやすいように利用会社コードは連番("000001"、"000002"など)を推奨します。
利用会社名(漢字/カナ)には、接続先の名称などをつけ運用しやすいようわかりやすくすることを推奨します。



#### 画面操作方法

#### ◆利用会社の新規作成を行う

①.新規作成する場合、『利用会社コード』コンボボックスに該当の利用会社コードを入力します
 ②.①で入力/選択した利用会社コードのデータを新規作成する場合は『新規』ボタンを押します
 ③.『利用会社名(漢字)』等を入力します
 ④.『保存』ボタンを押すことで、新規登録を確定します

#### ◆利用会社の変更を行う

①変更する場合、『利用会社コード』コンボボックスに対象とする利用会社コードを入力/選択します
 ②.①で入力/選択した利用会社コードのデータを変更する場合は『変更』ボタンを押下します
 ③.『利用会社名(漢字)』等を入力/訂正します
 ④.『保存』ボタンを押すことで、変更を確定します

#### ◆利用会社の削除を行う

①.削除する場合は、『利用会社コード』コンボボックスに対象とする利用会社コードを入力/選択します
 ②.①で入力/選択した利用会社コードのデータを削除する場合は『削除』ボタンを押下します
 ③.『保存』ボタンを押すことで、削除を確定します

# 画面名 利用会社マスタメンテ

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、トップメニューに戻ります ※データ設定中であった場合も、警告無しにトップメニューに戻ります
	初期表示状態 ・押下可能の状態
取消ボタン ※①メニューボタン	・全ての処理を取り消し、警告無しで初期画面に戻ります
★F9ボタンで利用可能	初期表示状態 ・押下不可の状態
保存ボタン ※①メニューボタン ★F4ボタンで利用可能	<ul> <li>・新規/変更時は「②利用会社コード」「③設定情報」に入力/変更したデータを保存します</li> <li>削除時は『利用会社コード』コンボボックスで選択したデータを削除します</li> <li>・保存後は「②利用会社コード」「③設定情報」をクリアし、初期画面に戻ります</li> </ul>
	初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『新規』『変更』『削除』ボタンを押下すると押下可能な状態になります
新規ボタン ※①メニューボタン ★F2ボタンで利用可能	・『利用会社コード』コンボボックスに入力した「利用会社コード」に該当するデータの新規作成を行います ・『新規』ボタン押下後、「③設定情報」を入力/選択可能な状態にします ※『新規』『変更』『削除』ボタンは押下不可の状態に、『保存』ボタンは押下可能な状態になります
	初期表示状態 ・押下可能な状態
変更ボタン ※①メニューボタン ★F3ボタンで利用可能	・『利用会社コード』コンボボックスに入力/選択した「利用会社コード」に該当するデータの変更を行います ・『変更』ボタン押下後、『利用会社コード』コンボボックスに表示されている「利用会社コード」に 該当するデータを「③設定情報」を入力/選択可能な状態にします ※『新規』『変更』『削除』ボタンは押下不可の状態に、『保存』ボタンは押下可能な状態になります
	初期表示状態 ・押下可能な状態
削除ボタン ※①メニューボタン ★F8ボタンで利用可能	・『利用会社コード』コンボボックスに入力した「利用会社コード」に該当するデータの削除を行います ・『削除』ボタン押下後、「③設定情報」を入力/選択不可な状態にします ※『新規』『変更』『削除』ボタンは押下不可の状態に、『保存』ボタンは押下可能な状態になります
	初期表示状態 ・押下可能な状態

機能名称	機能説明
利用会社コードコンボボックス ※②利用会社コード	・『利用会社コード』コンボボックスに表示されている「利用会社コード」に該当するデータが、 当画面での作成/変更/削除対象になります
	初期表示状態 ・空表示し、入力/選択可能の状態になります 
設定情報入力欄 ※③設定情報	・『利用会社コード』コンボボックスに表示されている「利用会社コード」に該当するデータを表示します ※新規作成時は、全ての項目が空の状態で表示されます
	初期表示状態 ・『新規』『変更』ボタンを押下した場合、入力/選択可能な状態になります ・『削除』ボタンを押下した場合、入力/選択不可な状態になります

画面名 利用会	会社マスタメンテナンス		]
表示対象データ	当画面表示対象データに ・利用会社マスタ	以下のデータになります	
表示並び順	利用会社コード ※②利用会社コード	利用会社コード(昇順)	

画面	画面名 利用会社マスタメンテナンス				]						
画面	画面項目内容										
No	表示	タイトル名	表示内容(データベース項目名)	型	最大梢 	行数 一小数	表示形式		入	.力 - チェック	備考
	1 ②利用会社コード	利用会社コード	利用会社コード/ 請求取引先コード/ 取引先コード	半角数字	13	-	_	入力・選択	0	半角数字のみ	
	2 ③設定情報	利用会社名(漢字)	請求取引先名(漢字)/ 取引先名(漢字)	全角文字	20	_	-	入力	0	全角文字のみ	
	3 ③設定情報	利用会社名(カナ)	請求取引先名(カナ)/ 取引先名(カナ)	半角文字	20	_	_	入力	0	半角文字のみ	
	4 ③設定情報	登録日時	登録日	日付/時刻	14	_	YYYY/MM/DD HH:MM:SS	不可			
	5 ③設定情報	更新日時	更新日	日付/時刻	14	_	YYYY/MM/DD HH:MM:SS	不可			

### 画面名 各種設定メニュー画面

各種設定メニュー

画面内容



#### 画面名 通信設定画面

通信アプリ(ACMSLiteNeo)の通信情報を設定する画面です 画面内容



### 画面名 通信設定画面

### 画面操作方法

- ◆通信設定を保存する
  - ①通信基本情報を全て入力します
  - ②、ベーシック認証の場合は、「ベーシック認証を利用する」にチェックし、「ベーシック認証ID]「ベーシック認証パスワード」を入力します クライアント認証の場合は、「クライアント認証を利用する」にチェックし、「クライアント証明書パス」を選択または入力し、 「クライアント証明書パスワード」を入力します
  - ③.プロキシサーバを利用し、個別に設定が必要な場合は[個別に設定]に変更後、[プロキシサーバを利用する]にチェックし必要情報を入力します ※個別に設定する必要がない場合は、プロキシ設定は必要ありません
  - ④必要情報設定後、保存ボタンを押します

画面名 通信設定画面	
機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン	<ul> <li>・当該画面を終了し、各種設定メニューへ戻ります</li> <li></li></ul>
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・ 押下可能の状態 
保存ボタン ※①メニューボタン	・通信基本情報等の設定内容を保存します
★F4ボタンで利用可能	初期表示状態 ・押下可能の状態
キャンセルボタン ※①メニューボタン ★F9ボタンで利用可能	・入力内容を破棄して編集前の状態に戻します ※確認メッセージが表示されます
	初期表示状態 ・押下可能の状態
通信基本情報 ②通信基本情報	・設定された通信基本情報を表示します
	初期表示状態 ・「全て入力可能/未入力な状態
ベーシック認証 ③ベーシック認証情報	・設定されたベーシック認証情報を表示します ・「ペーシック認証を利用する」にチェックすると、「ベーシック認証ID」「ベーシック認証パスワード」が入力可能になります
	初期表示状態 ・「ベーシック認証を利用する」が未チェックの状態 ・「ベーシック認証ID」「ベーシック認証パスワード」が入力不可/未入力な状態
クライアント認証 ④クライアント認証情報	・設定されたクライアント認証情報を表示します ・「クライアント認証を利用する」にチェックすると、「クライアント証明書パス」クライアント証明書パスワード」が入力可能、参照ボタンが押下可能になります
	初期表示状態 ・「クライアント認証を利用する」が未チェックの状態 ・「クライアント証明書パス」クライアント証明書パスワード」が入力不可/未入力な状態 ・参照ボタンが押下不可な状態
プロキシサーバ情報 ⑤プロキシサーバ情報	・設定されたプロキシサーバ情報を表示します ・「個別に設定」を選択すると、「プロキシサーバを利用する」チェック可能になります ・「プロキシサーバを利用する」にチェックすると、「プロキシサーバ」「プロキシユーザ」「プロキシパスワード」が入力可能になります
	初期表示状態 ・「IEと同じ設定を利用」が選択された状態 ・「プロキシサーバを利用する」は未チェック、チェック不可な状態 ・「プロキシサーバ」「プロキシユーザ」「プロキシパスワード」は入力不可/未入力な状態

画面名 通信語	设定画面					
表示対象データ ・トップメニューで選択した利用会社の通信設定情報を表示						
表示並び順			Ξ			

画面	名	通信設定画面				]					
画面項	<b>〔</b> 目内容										
No	表示	タイトル名	表示内容	型	最大相	行数	表示形式				備考
1	<u>クルーフ</u> ②通信基本情報	接続先URL	接続先URLを設定	文字列	<u>整致</u> —	小致		<u>形式</u> 入力	必須	<u>チェック</u> TF6G制限 チェック	
2	②通信基本情報	相手先URI	接続先サーバのURIを設定	文字列	_			入力	0	/ _ / /	
3	②通信基本情報	相手先識別子	接続先サーバの識別子を設定	文字列				入力	Ó		
4	2通信基本情報	当方URI	ユーザ側のURIを設定	文字列				入力	0		
5	2通信基本情報	当方識別子	ユーザ側の識別子を設定	文字列				入力	0		
6	③ベーシック認証情報	ベーシック認証を利用する	ベーシック認証を利用する場合はチェッ クします	_	_			チェック			
7	③ベーシック認証情報	ベーシック認証ID	ベーシック認証IDを入力します ※入力値に関しては、接続先から発行 される接続情報をご参照ください	文字列	_			入力	*0		※ベーシック認証を利用する 場合は必須
8	③ベーシック認証情報	ベーシック認証パスワード	ベーシック認証パスワードを入力します ※入力値に関しては、接続先から発行 される接続情報をご参照ください	文字列				入力	*0		※ベーシック認証を利用する 場合は必須
9	④クライアント認証情報	クライアント認証を利用す る	クライアント認証を利用する場合は チェックします	—				チェック			
10	④クライアント認証情報	クライアント証明書パス	クライアント証明書ファイルのパスを選択/入力します ※証明書に関しては接続先にお問い合わせください	文字列	—			入力	*0		※クライアント認証を利用する 場合は必須
11	④クライアント認証情報	クライアント証明書パス ワード	クライアント証明書パスワードを入力し ます ※入力値に関しては接続先にお問い合	文字列	_			入力	*0		※クライアント認証を利用する 場合は必須
12	⑤プロキシサーバ情報	IEと同じ設定を利用	IEと同じ設定を利用する場合は選択	_	_			選択			
13	⑤プロキシサーバ情報	個別に設定	上記と異なり、個別に設定しなければい けない場合は選択 詳しくは貴社のネットワーク管理者にご 確認ください	_	—			選択			
14	⑤プロキシサーバ情報	プロキシサーバを利用す る	プロキシサーバを利用する場合はチェッ クします	—				チェック			
15	⑤プロキシサーバ情報	プロキシサーバ	利用するプロキシサーバを入力します 詳しくは貴社のネットワーク管理者にご 確認ください	文字列	—			入力	*0		※プロキシサーバを利用する 場合は必須
16	⑤プロキシサーバ情報	プロキシユーザ	利用するプロキシサーバのユーザを入 カします 詳しくは貴社のネットワーク管理者にご 確認ください	文字列	_			入力			
17	⑤プロキシサーバ情報	プロキシパスワード	利用するプロキシサーバのユーザパス ワードを入力します 詳しくは貴社のネットワーク管理者にご 確認ください	文字列	_			入力			

# 画面名 通信ファイル設定画面

		閉じる(F12)	①メニュー <b>ホ</b> ダジ
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	選択 データ種名 処理内容 ドキュメン	・ト形式 ドキュメント種別	
	「 受信データ1 D:受信 SecondGenEDI	I ReceiveData1	②通信ファイル設定一覧
	□ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ■ ■ ● ● ● ● ● ●	I ReceiveData2	1
	┃    │送信データ1	DI SendDatal	1
	新 殒 贫 更	月川 除	
	<ul> <li>通信ファイル情報</li> <li>データ種名</li> <li>データ種名</li> <li>データ種1</li> <li>処理内容</li> <li>ドキュメント形式</li> <li>DocumentFormat1</li> <li>ドキュメント種別</li> <li>DocumentType1</li> <li>マ 受信時ファイル出力</li> <li>出力フォルダ</li> <li>C¥Temp</li> <li>出力ファイル名</li> <li>DATAdat</li> <li>※既に出力フォルダに同じ名称のファイルが存む</li> <li>「ファイル名 + 連番(+ 拡張子)」となります。</li> <li>【例】出力ファイル&amp;が「FILE dat" ご既に出 出力されるファイルは" FILE lat" どお</li> </ul>	D受信 ▼ を照 左する場合、出力ファイルは とカフォルダにで「FILE dat"が存在する場合、	③通信ファイル情報設定
	<ul> <li>通信ファイル情報</li> <li>データ種名</li> <li>データ種1</li> <li>処理内容</li> <li>ドキュメント形式</li> <li>DocumentFormat1</li> <li>ドキュメント種別</li> <li>DocumentType1</li> <li>ジ 受信時ファイル出力</li> <li>出力フォルダ</li> <li>C*Temp</li> <li>出力ファイル名</li> <li>DATAdat</li> <li>*既に出力フォルダに同じ名称のファイルが存着 「ファイル名 + 連番(+ 拡張子)」となります。</li> <li>【例】出力ファイルとおが「FILEdat" で既に出 出力されるファイルは、「FILE1dat"とない</li> </ul>	□受信 ▼ を照 左する場合、出力ファイルは とカフォルダにで「FILEdat"が存在する場合、	③通信ファイル情報設定
	<ul> <li>通信ファイル情報</li> <li>データ種名</li> <li>データ種1</li> <li>処理内容</li> <li>ドキュメント形式</li> <li>DocumentFormat1</li> <li>ドキュメント種別</li> <li>DocumentType1</li> <li>ジラ信時ファイル出力</li> <li>出力フォルダ</li> <li>C¥Temp</li> <li>出力ファイル名</li> <li>DATAdat</li> <li>※既に出力フォルダ(ご同じ名称のファイルが存在 「ファイル名+ 連番(+ 拡張子)」となります。</li> <li>【例】出力ファイルは、FILE dat で設に出 出力されるファイルは、FILE ldat とな</li> </ul>	D受信 ▼ を照 左する場合、出力ファイルは とカフォルダ(こ <sup>*</sup> FILE dat <sup>**</sup> が存在する場合、 *ります。	③通信ファイル情報設定
	<ul> <li>通信ファイル情報</li> <li>データ種名</li> <li>データ種1</li> <li>処理内容</li> <li>ドキュメント形式</li> <li>DocumentFormat1</li> <li>ドキュメント種別</li> <li>DocumentType1</li> <li>ジ 受信時ファイル出力</li> <li>出力フォルダ</li> <li>C*Temp</li> <li>出力ファイル名</li> <li>DATAdat</li> <li>*既に出力フォルダ(こ同じ名称のファイルが存む 「ファイル名 + 連番(+ 拡張子)」となります。</li> <li>【例】出力ファイルと者・運番(+ 拡張子)」となります。</li> <li>【例】出力ファイルは*FILEdat*で既に出 出力されるファイルは*FILE1dat*とな</li> </ul>	●受信 ▼ を照 在する場合、出力ファイルは とカフォルダにご FILE dat"が存在する場合、 ります。	③通信ファイル情報設定

# 画面名 通信ファイル設定画面

# 画面レイアウト

【オプション設定画面】



#### 画面操作方法

#### ◆通信するデータ種の情報を登録する

①.「新規」ボタンを押します

- ②.「データ種」に登録するデータ種名を入力し、「処理内容」から[0:受信]または[1:送信]を選択します
- ③.[ドキュメント種別]、[ドキュメント形式]を入力します

※データ種のドキュメント種別/形式が不明の場合は接続先の問い合わせ窓口までお問い合わせください

④「ファイル出力設定」の[出力フォルダ指定]にファイル出力場所を指定し、[出力ファイル指定]に出力時のファイル名を指定します ※受信と同時にファイル出力しない場合、「受信時ファイル出力」チェックボックスのチェックを外してください

⑤.受信/送信時に文字コード変換を行う場合は、「文字コード変換」チェックボックスにチェックし「文字コード」コンボボックスから 変換する文字コードを選択します

※文字コード変換を行わない場合、「文字コード変換」チェックボックスのチェックは付けないでください

⑥.オプション設定(改行コード付加/削除、EOF付加/削除)の設定を行う場合は[オプション設定]ボタンを押し、 オプション設定画面にて設定をします

⑦「保存」ボタンを押すことにより、一覧に指定したデータ種が表示され保存されます

◆通信するデータ種の情報を変更する

①.通信ファイル設定一覧にて変更するデータ種の「選択」チェックボックスにチェックし、「変更」ボタンを押します

②.「データ種]、「ドキュメント種別」、「ドキュメント形式]等、変更したい情報を変更します
 ※オプション設定を変更したい場合は「オプション設定」ボタンを押し、情報を変更します
 ③.情報変更後、保存ボタンを押すことにより情報が更新され保存されます

◆通信するデータ種の情報を削除する

通信ファイル設定一覧にて削除するデータ種の「選択」チェックボックスにチェックし、「削除」ボタンを押します
 確認メッセージにて「はい」を押すことにより、一覧から指定したデータ種が削除されす

# 画面名 通信ファイル設定画面

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン	・当該画面を終了し、各種設定メニューへ戻ります
$\times$ $1 \times 1 - \pi \times 2$	
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・押下可能の状態
通信ファイル(データ種)一覧 ※②通信ファイル設定一覧	・設定したデータ種の通信ファイル情報一覧が表示されます
	初期表示状態 ★データ種設定なし ・一覧表示なし ★データ種設定あり ・登録したデータ種の通信ファイル情報一覧が表示されます
新規ボタン ※②通信ファイル設定一覧	・新規データ種の通信ファイル情報の登録を行います ※新規ボタン押下後は③通信ファイル情報設定が有効化され情報が設定できるようになります 
	初期表示状態 ・押下可能の状態
変更ボタン ※②通信ファイル設定一覧	・登録済データ種の通信ファイル情報の変更を行います ※一覧からデータ種選択し変更ボタン押下後は③通信ファイル情報設定が有効化され情報が設定できるようになります
	初期表示状態 ・押下可能の状態
削除ボタン ※②通信ファイル設定一覧	・登録済データ種の通信ファイル情報の削除を行います ※一覧からデータ種選択し削除ボタン押下後に一覧から削除されます
	初期表示状態 ・押下可能の状態
受信時ファイル出力チェックボックス ※③通信ファイル情報設定	・受信と同時にファイル出力を行う場合はチェックをつけ、[出力フォルダ指定]、[出力ファイル指定]を設定します ※チェックを外すと、[出力フォルダ指定]、[出力ファイル指定]が入力不可、参照ボタンが押下不可になります ※チェックがついている場合は[出力フォルダ指定]、[出力ファイル指定]が保存時に必須項目になります
	初期表示状態 ・チェック不可の状態 ※データ種で「0:受信」選択後はチェックがついている状態 ※変更ボタン押下後は対象データ種の保存されている状態
参照ボタン ※③通信ファイル情報設定	・フォルダ選択ダイアログを表示します ※フォルダ選択ダイアログで選択後に、選択されたフォルダのパスを[出力フォルダ指定]のテキストボックスに表示します
	初期表示状態 ・押下不可の状態 ※受信時ファイル出力チェックボックスにチェックをつけた場合は押下可能となります

機能名称	機能説明
文字コード変換チェックボックス	・受信/送信時に受送信ファイルの文字コード変換を行う場合はチェックをつけ、変換する[文字コード]を設定します
※③通信ファイル情報設定	※チェックを外すと、〔文字コード〕が選択不可になります
	※チェックがついている場合は変換する[文字コード]が保存時に必須項目になります
	初期表示状態
	・チェック不可の状態
	※新規ボタン押下後はチェックがついていない状態
	※変更ボタン押下後は対象データ種の保存されている状態
保存ボタン	・設定したデータ種の通信ファイル情報を保存します
※③通信ファイル情報設定	保存後は一覧表示されます
	初期表示状態
	・押下不可の状態
	※新規/変更ボタン押下時に押下可能な状態になります
キャンセルボタン	・入力内容を破棄して登録/変更ボタン押下前の画面状態に戻します
※③通信ファイル情報設定	※確認メッセージが表示されます
	初期表示状態
	・押下不可の状態
	※新規/変更ボタン押下時に押下可能な状態になります
改行コードを付加する	・受信/送信時に受送信ファイルの改行コードを付加したい場合はチェックをつけ、[付加する改行コード][付加間隔]を設定します
※④改行⊐ード設定	※チェックを外すと  付加する 改行コード]  付加間隔](及び  任意コード])は 入力不可になります
	※[付加する改行コード]にて「9:任意コード」選択時に[任意コード]が入力可能になります
	※チェックがついている場合は[付加する改行コード][付加間隔]がOKボタン押下時に必須項目になります(任意コード選択時は[任意コード]も必須です)
	・チェック可能な状態(チェックボックス以外は無効な状態)
以17」―トを削除りる	・実信/ 法信时に支援信/アイルの取行コートを削除したい場合はデエックをつけ、開味9 る取行コート]を設定しま9
	※テェッンをアトりと[刑跡する以1」コート](及び[江島コート]/は入ノイヤリになります) ツ(判除するみにコート)(とて)。(だきっ)()。翌田はに(だきっ)()が1 もうかにたり(ます)
	※[刑跡する取1]コート]にている! 江島コート] 選び付けに江島コート] が入力り 貼になります
	※テェッジがういている場合は「削除する以1」コート」がのヘホタン仲下時に必須項目になります(江急コート送扒時は「江急コート」の必須です)
	「ツガガダ小ひんだ」
	/ エノノ 5j m5/5/1/1/1/////シンパン/1/1/5///1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/
FOF設定	・受信/送信時に受送信ファイルのFOFコード(0x1A)の付加/削除を行う場合は各チェックボックスにチェックに設定します
×5FOF設定	
	・未チェックでチェック可能な状態
1	

機能名称	機能説明
OKボタン	・設定したオプション設定を確定し通信ファイル設定画面に戻ります(保存は通信ファイル設定画面で行います)
※⑥処理決定ボタン	
	初期表示状態
	・押下可能な状態
キャンセルボタン	・設定したオプション設定を破棄し通信ファイル設定画面に戻ります
※⑥処理決定ボタン	
	初期表示状態
	・押下可能な状態

画面名 通信	ファイル設定画面	
表示対象データ	・登録されたデータ種の通信ファ ※②通信ファイル設定一覧	イル設定情報を表示
表示並び順	通信ファイル設定一覧 ※②通信ファイル設定一覧	データ登録昇順
	処理内容コンボボックス ※③通信ファイル情報設定	[0:受信]>[1:送信]
	文字コードコンボボックス ※③通信ファイル情報設定	文字コード昇順
	付加する改行コードコンボ ※④改行コード設定	改行コード昇順
	削除する改行コードコンボ ※④改行コード設定	改行コード昇順

画面	名	通信ファイル設定画面									
画面耳	頁目内容										
No	表示	タイトル名	表示内容	型	<u>最大桁</u> 数	数 小数	表示形式	) 形士	入力	エーック	備考
1	2)通信ファイル一覧	選択	選択チェックボックス			小奴		チェック	北次		
2	②通信ファイルー覧	データ種	データ種名	文字列	20						
3	②通信ファイル一覧	処理内容	処理内容(受信/送信)	文字列				不可			
4	②通信ファイル一覧	ドキュメント形式	ドキュメント形式	文字列	128			不可			
5	②通信ファイル一覧	ドキュメント種別	ドキュメント種別	文字列	128			不可			
6	③通信ファイル情報	データ種	データ種名	文字列	20			入力	0		
7	③通信ファイル情報	処理内容	処理内容(受信/送信)	文字列	_			選択	0		以下のリストから選択 0:受信 1:送信
8	③通信ファイル情報	ドキュメント形式	ドキュメント形式	文字列	128			入力	0		
9	③通信ファイル情報	ドキュメント種別	ドキュメント種別	文字列	128			チェック	0		
10	③通信ファイル情報	受信時ファイル出力	受信時ファイル出力チェックボックス	—	—			チェック			
11	③通信ファイル情報	出力フォルダ指定	出力フォルダパス	文字列	128			入力/選択	жо		※受信時ファイル出力を利用する場合は必須
12	③通信ファイル情報	出力ファイル指定	出力ファイル名(拡張子つきで設定)	文字列	30			入力	жо		※受信時ファイル出力を利用する場合は必須
13	③通信ファイル情報	文字コード変換	文字コード変換チェックボックス	—	—			チェック			
14	③通信ファイル情報	文字コード	変換文字コードリスト		_			選択	*0		以下のリストから選択 ★処理内容が"0:受信"の場合 01:IBM EBCDIC 02:IBM EBCDIC日本語カタカナ拡 張 03:日立 EBCDIC日本語カタカナ拡 張 05:NEC EBCDIC日本語カタカナ拡 低 ★処理内容が"1:送信"の場合 11:IBM EBCDIC日本語カタカナ拡 ほ 13:日立 EBCDIC日本語カタカナ拡 ほ 13:日立 EBCDIC日本語カタカナ拡 ほ 13:NEC EBCDIC日本語カタカナ拡 ほ 15:NEC EBCDIC 16:NEC EBCDIC日本語カタカナ拡 ほ ※文字コード変換を利用する場合は 必須
15	④改行コード設定	改行コードを付加する	改行コードを付加するチェックボックス		_			チェック			

16	④改行コード設定	付加する改行コード	改行コードリスト	_	_		選択	*0	以下のリストから選択 1:CR/LF 2:LF/CR 3:CR 4:LF 9:任意コード ※改行コードを付加を利用する場合 は必須
17	④改行コード設定	任意コード(付加)	任意コード(16進数を指定)	文字列	2		入力	×0	※任意コードは16進数2桁のみ入力 可能 ※付加する改行コードで[9:任意コー ド]を選択した場合は必須
18	④改行コード設定	付加間隔	付加間隔	数値	2147483647		入力	жо	※改行コードを付加を利用する場合 は必須
19	④改行コード設定	改行コードを削除する	改行コードを削除するチェックボックス	—	—		チェック		
20	④改行コード設定	削除する改行コード	改行コードリスト	_			選択	*0	以下のリストから選択 1:CR/LF 2:LF/CR 3:CR 4:LF 9:任意コード ※改行コードを削除を利用する場合 は必須
21	④改行コード設定	任意コード(削除)	任意コード(16進数を指定)	文字列	2		入力	*0	※任意コードは16進数2桁のみ入力 可能 ※削除する改行コードで[9:任意コー ド]を選択した場合は必須
22	⑤EOF設定	EOFを付加する	EOFを付加するチェックボックス		_		チェック		
23	⑤EOF設定	EOFを削除する	EOFを削除するチェックボックス		_		チェック		



# 画面名 退避/復元設定画面

# 画面操作方法

◆自動バックアップ設定を行う
 ①.自動バックアップ設定の項目から設定を選択します
 ②.「保存」ボタンを押すことにより設定が保存されます

#### ◆退避を行う/復元を行う

①.「退避/復元画面を開く」ボタンを押します
 ②.表示された退避/復元画面にて実施します
 ※詳細はiTERAN共通マニュアルの退避/復元画面をご参照ください



# 画面名 スケジューラ設定画面

### 画面操作方法

- ◆iTERANスケジューラの自動起動設定を行う
   ①.自動バックアップ設定の項目から設定を選択します
   ②.「保存」ボタンを押すことにより設定が保存されます
- ◆iTERANスケジューラを今すぐ起動する

①.「スケジューラ起動」ボタンを押します
 ②.iTERANスケジューラが起動され、タスクトレイにiTERANスケジューラアイコンが表示されます
 ※スケジューラについてはiTERAN共通マニュアルの「iTERAN/AE スケジューラ機能」をご参照ください

### 画面名 データ整理設定画面

データ保有期間設定、データ整理実行、自動データ削除設定を行います

# 画面内容



### 画面名 データ整理設定画面

### 画面操作方法

◆データ保有期間を設定する

①.「保有期間」を設定します

②.「保存」ボタンを押すことにより設定が保存されます

※保存したデータ保有期間はデータ整理時、及び自動データ削除機能実行時(iTERAN終了時)の送受信したデータファイルの削除時に利用します

#### ◆データ整理を実行する

①「データ整理実行」ボタンを押します

②.データ整理(データの削除)が実行され、保有期間外の送受信したデータファイルが削除されます

#### ◆自動データ削除設定をする

①「自動データ削除機能を利用する」または「自動データ削除機能を利用しない」を選択します

②「保存」ボタンを押すことにより設定が保存されます